

説明書

1. 業務名

平成 30 年度訪日外国人旅行者周遊促進事業

「地域の実情に応じた F I T 周遊促進のための効果的交通サービスの検証事業」

2. 実施時期

契約締結日～平成 3 1 年 2 月 2 8 日

3. 業務の目的

現在、国では訪日外国人旅行者数について、2020 年には 4,000 万人、2030 年には 6,000 万人、消費額 2020 年 8 兆円という目標達成に向け、訪日外国人旅行者をはじめとした観光客の各地域への周遊を促進するため、DMO が中心となって行う、地域の関係者が連携して観光客の来訪・滞在促進を図る取組に対して支援を行うことから、一般社団法人山陰インバウンド機構においては、2020 年の訪日外国人宿泊者数 40 万人泊を達成することにより山陰地域の経済活性化を目指した事業展開を図ることとしている。

そのことを踏まえ、当地域にあっては、訪日外国人観光客が個人で周遊する場合、二次交通が脆弱であることから、脆弱性をフォローする事業や施策が必要であり、H29 年度に実施した実証事業によってクルーズ船乗客・乗組員への有効性が認められたオンデマンド型相乗り移動サービス（デマンドタクシー）について、他地域での有用性、ビジネスモデルの検証を行う。

また、地方空港において FIT のスムーズな周遊促進につながる施策を検討する。

4. 業務の内容

①境港での持続可能なビジネスモデルの検証

昨年度のデマンドタクシーの実証を踏まえ、事業として継続可能な形の検証を行う。

（事業実施にあたってのポイント）

- ・境港管理組合、境港市役所や境港市観光協会、その他関連する事業者等と連携して実施すること。
- ・今回は、ビジネスにつなげる検証であることから、乗客から利用料金を徴収すること。

（機構としては一人当たり千円を想定）

（実施内容）

事前検討会 1 回、報告会 1 回

実施回数 2 回

実施船（候補） コスタネオロマンチカ、（ダイヤモンドプリンセス）

※ F I T が多いと想定される船舶で、事業実施にあたり、船会社、ランドオペレーターとの調整が可能と思われるもの

実施日候補 7 月 24 日（コスタ）、8 月 9 日（ダイヤモンドプリンセス・コスタ同時入港）、8 月 23 日（コスタ）

②浜田港クルーズ船寄港を対象としたデマンドタクシーの効果検証

今年度寄港するコスタネオロマンチカの寄港に際し、境港モデルを活用。浜田の実態を踏まえたデマンドタクシーを検証する。

(事業実施にあたってのポイント)

- ・浜田港振興会、浜田市役所、浜田市観光協会、その他関連する事業者等と連携して実施すること。
- ・デマンドタクシーを効果的に走らせることで、滞留するFITの周遊促進による消費拡大につなげ、今後のクルーズ船受入の際の環境整備にも活かせる内容とすること。

(実施内容)

事前検討会	1回、報告会1回
実施回数	2回
実施船	コスタネオロマンチカ
実施日	7月8日、10月10日

③地方空港におけるFIT客がスムーズな周遊につながる交通環境の検証、

萩石見空港を起点に、個人で旅行する訪日外国人が、公共交通機関等を利用し、宿泊施設や観光地等とのスムーズな移動や周遊につながる施策の検証を行い、具体策について提案すること。

【実施内容】

外国人目線による現状検証による課題を抽出した上で、地元交通事業者や行政機関等との協議を踏まえ、スムーズな移動や周遊促進につながる2施策以上を検討し、施策を提案すること。

5. 目標と成果指標

①・② デマンドタクシー

1. 実施回数 (タクシー運行) : ①境港 2回 ②浜田港 2回
(検討会・報告会) : ①境港 各1回 ②浜田港 各1回
2. タクシー利用者数 : 1回あたり40名以上
3. 訪問施設数 : 一人あたり3施設以上
4. 消費額目標 : 一人あたり12,000円以上

③ 地方空港におけるFIT利用客のスムーズな周遊促進につながる検証

1. 誘客促進策の提案 : 2施策以上

6. 報告書の提出等

- (1) 提出物 事業実施完了報告書 (A4判) 5部
- (2) 提出場所 一般社団法人山陰インバウンド機構

(3) 提出期限 平成 31 年 2 月 28 日 (木)

なお、作成に当たっては、以下について留意のこと。

- ① 事前に監督職員の承認を受けること。
- ② 事業実施状況等を分かり易く編集すること。

7. その他

- (1) 事業の実施に当たっては、「Japan. Endless Discovery.」のロゴマークや「縁の道～山陰～」のロゴマークを使用するなど、国の進める事業に趣旨に沿って行うよう配慮すること。
- (2) 可能な限り日本政府観光局(JNTO)が運営する Web サイト(<http://www.jnto.go.jp/>)や山陰インバウンド機構が運営する Web サイト(<https://www.sanin-tourism.com/>)へのリンク設定、URL・QR コードの掲載などによって、インターネットでの検索やアクセスが可能な環境を整備し、各 Web サイトへの誘導に配慮すること。